

令和4年度「理数数学 I (数学 I 分野)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	理数科	理数	理数数学 I	6	必修
教科書	高等学校数学 I (数研出版)				
副教材	新課程 チャート式 基礎からの数学 I +A (数研出版) 新課程 教科書傍用 4プロセス 数学 I +A (数研出版)				

学習の目的

- 1 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させる。
- 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。
- 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習の目標

	学習の目標	評価の割合
I 知識・技能	授業に主体的に参加し、各単元における基礎的な知識を習得し、理解できている。	4
C 思考・判断・表現	定理や公式の意味を理解し、活用したり説明したりすることができる。	3
E 学びに向かう力・人間性等	数学的に考えることに興味をもち、いろいろな角度から考えることができる。	3

つけた たい 力	みつめる力	習得した内容を活用できる。
	きわめる力	数学的論拠に基づいて考えたり、仮説を立てたりして問題を解く。
	つなげる力	日常の事象につなげ、課題を解決をしようとする。

評価方法

	評価方法	I	C	E
◇	定期考査、課題考査等	○	○	
◇	課題・提出物の状況（日々の演習、週末課題、定期考査や模試のやり直し、長期休暇における課題）		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ (予習について)
教科書の「例」や「例題」を参考に、「練習」問題を解いて授業に臨んでください。わからなかった部分を把握しておいてください。
- ◇ (授業について)
予習でわからなかった部分をよく聞くようにしてください。自分の考えを周囲の人に説明する、または周囲の人の考えを聞く、ということを意識してください。
- ◇ (課題について)
日々の課題、週末課題、長期休暇の課題は提出期限を必ず守ってください。参考書を見ながら取り組んでください。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I : 知識理解	C : 思考判断表現	E : 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	○数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。			○	○	○
	5	第3節 1次不等式 第2章 集合と命題						
	6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化	○2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期末考査		○	○	○
	7	第3節 2次方程式と2次不等式				○	○	○
第2学期	9	第5章 データの分析	○統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	中間考査		○	○	○
	10	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	○三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらの事象の考察に活用できるようにする。			○	○	○
	11							
	12							
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。